

海軍省
則登

達第百四十三號

雇員儲人規則中左ノ通改正ス

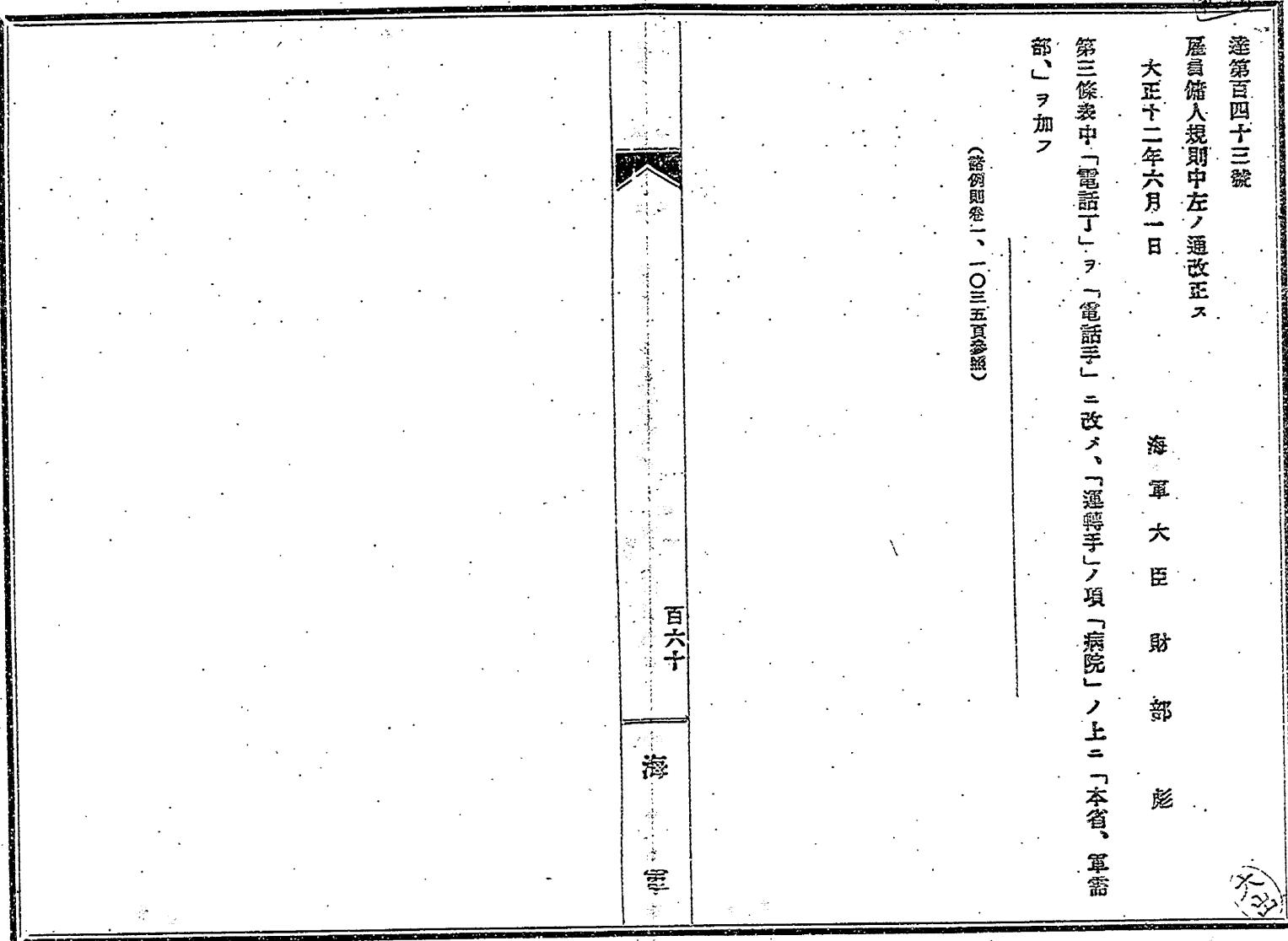
大正十二年六月一日

海軍大臣財部彌

第三條表中「電話」ヲ「電話番」ニ改メ、「連絡手」ノ項「病院」ヘ上ニ「本省、軍需

部」ヲ加フ

(該例附卷一、103頁)



1062

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

海軍規則

達第百四十四號

明治四十一年達第三十五號魚形水雷失踪亡失取扱規則中左ノ通改正ス

大正十二年六月五日

海軍大臣財部彪

第三條第一項末尾ニ左ノ如ク加フ

同 三箇月以後 金參拾圓以内

同條第二項ヲ左ノ如ク改ム

前項ノ場合ノ外發見又ハ拾得ノ届出アリタルトキハ金壹百圓以内ノ報酬ヲ與フルコト

ヲ得

(諸例附卷二、七四一頁参照)

百六十一	海軍
------	----

1063

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

達第百四十五號

總管需品試驗規格中左ノ適改正ヘ

大正十二年六月五日

海軍大臣財部彭

機器長主管

カバトル油ノ規格第八號ヲ左ノ如ク改ム

八、酸 度 (油酸当量)

1.50000

西六十一
海軍

1064

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

達第四十六號

大正三年達第百五號雜役船除籍鑑船取扱規則中左ノ通改正ハ

大正十二年六月十三日

海軍大臣財部彪

第二條第一項中「別紙様式(甲、乙)」ヲ「別紙様式(甲、乙)及別ニ雜役船ノミニ鑑之(丙)」ニ改ム

第二條第二項中「要港部修理工場」ヲ「要港部工作部」ニ改ム

第六條第一項中「別紙様式(丙)」ヲ「別紙様式(丁)」ニ改ム

第六條第二項ヲ左ノ通改ム

廢船艇ハ海軍工廠長ヲシテ之ヲ保管セシメ其ノ内造船造兵材料ニ適ナルモノハ解體處分ノ上同材料ニ編入セシメ其他ハ賣却處分セシムヘシ

別表「(丙様式)」ヲ「(丁様式)」ニ改ム

別表ノ如ク(丙様式)ヲ加フ

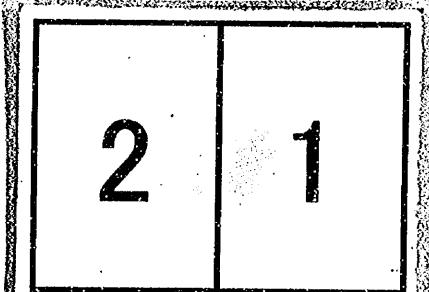
(諸例附卷二、四〇八頁参照)

(別表一葉添)

百六十三

海軍

分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A3版以上のため
文書等名	難得船定数对現在數一覽表
上記のとおり分割撮影したことを証明する。	

雜役船定數對現在數一覽表

廳長

1066

1067

練習 船 (艦)	標的 船				泥受 船	浚渫 船	起重器 船	水 船	船貨運				艇櫓 船	機 械	(純)船動機						船 種 類 等								
	橋 浮 岩 船		橋 浮 岩 船						重 油 船		船 型 マ ル グ		船 型 シ ラ ヤ シ		馬 傳 輪		救 難 艇		長官 (司令官) 船		内 火 艇		(混交)船 曳 曳						
	小 型 第 三 種	第 三 種	第 四 種	第 四 種					八 坪 積	三十五坪 積	五 十 坪 積	五 十 坪 積	百 五十 噸 積	百 五十 噸 積	二百 五十 噸 積	二百 五十 噸 積	五十 噸 積	五十 噸 積	三十 七 呎 以上	三十 七 呎 以下	ジ ン キ ー ト	ギ ア ク	カ ツ タ ー	ビ ン (ランチ) ス	二十 節 未 滿	百 (六十) 噸	百 五十 噸	三百 百 噸	六 百 噸 以 上

卷之三

機動船艇以外、雜役船（機艤、櫓艇及水船等）ニシテ機動裝置ヲ備フルモノハ相當
記事欄ニ「内何隻發動機附」、「内何隻汽走」等便宜說明ヲ附スルモノトス

總第四十七號

海軍練習生採用身體檢查規範別表中左ノ標改付バ

大正十二年六月十六日

海軍大臣財部彪



視力ノ項選手ノ種中「及格修業」ヲ付ヘ
水雷術ノ種ニ左ノ一欄ヲ加フ

測的術		同種ノ標	各二眼視力不全者	各二眼視力不全者	同種ノ標	同種ノ標
同種ノ標	各二眼視力不全者	各二眼視力不全者	各二眼視力不全者	各二眼視力不全者	各二眼視力不全者	各二眼視力不全者

識色力ノ項選用術ノ標「識色力不全ナル者」及信號術ノ標「運用術ノ區分」ヲ各「測的術ノ標ニ同シ」リ改ム又同項潛水學校兵科ノ標「測的術ノ標ニ同シ」ヲ加ヘ
備考第二號ヲ左ノ如ク改ム

百六十四

海軍

潛水學校練習生採用身體檢查ニ際シ兵科特修兵中高等科掌砲兵及掌電信兵ニ在リテハ
視力ハ當該特修兵タル（キ練習生採用ノ規定ヲ適用シ水中聽音機取扱ニ當ル者ニ在リ
テハ耳及聽力ハ電信術練習生採用ノ規定ヲ適用ベ

（總第四十七號）

1068

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

達第百四十八號

大正九年達第八十四號中左ノ通改正ハ

大正十二年六月十九日

海軍大臣財部彪

1069

第二號中士官用室ノ行「士官」ハ下ニ「特務士官」ヲ加フ

參照 大正九年達第八十四號ハ艦船ノ公私室使用者ノ件ナヨ(諸規則卷一、四一一ハ一五ノ圖頁)

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

達第百四十九號

經營需品定額表及經營需品貨與品表中左ノ通改正ス

大正十二年六月二十五日

海軍大臣財部



經營需品定額表中

主計長主管

區別	類別	番號	品名	數稱	摘要
同	追加備品	八四五	野菜皮剥機	六十斤入	附屬品共用ノモノ
同	同	八四六	同	三十斤入	電力使用ノモノ
同	同	八四七	同	十五斤入	同
同	同	一三一七	裁縫機	個	附屬品共用ノモノ
同	自轉車	一八	同	個	手動ノモノ
同	附屬品共	百六十六	同	同	(シンガ・製)

海軍

百六十六

經營需品貨與品表中

主計長主管

區別	品名	數稱	貨與場合
同	追加甲類	野菜皮剥機	六十斤入
同	同	同	三十斤入
同	同	同	十五斤入
裁縫機	同	同	許フ得タル時シ認

1070

達五百五十一號

鐵道部品定額表中左ノ通改正ス

大正十二年六月二十七日

海軍大臣財部彥



1071

機關長主管

區別	類別番號	品名	數稱	摘要	要
追加 備品	一三三六 イ	乗用自動車	個	部隊公用	
同	一三	荷物自動車	個	部隊公用	
同	一三	消防自動車	個	部隊公用	
同	一三	自動自轉車	個	部隊公用	
	一三		同		

百六十七

軍

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

達第百五十一號

艦管需品經理規程中左ノ通改正ヘ

大正十二年六月二十九日

海軍大臣財部彥

別表第一號艦管需品第二種汽船用品名表機關及主管中「輕油」ヲ加フ

1072

海軍省
訓令
第百五十二號

達第百五十二號

驅逐隊潜水隊艇隊職員服務規程中左ノ通改正ハ

大正十二年六月三十日 海軍大臣 財部謹

「驅逐隊潛水隊艇隊職員服務規程」ヲ「驅逐隊潛水隊掃海隊職員服務規程」ニ改ム

第五條中「驅逐隊潛水隊艇隊令」ヲ「驅逐隊潛水隊掃海隊令」リ、「下士卒」ヲ「下士官

及兵」リ、「將校、機關將校及將校相當官」ヲ「士官」ニ改ム

第六條中「驅逐隊潛水隊艇隊令」ヲ「驅逐隊潛水隊掃海隊令」ニ、「將校、機關將校及將

校相當官」ヲ「士官」ニ改メ「職務執行者又ハ」ヲ削ル

第十一條中「母船」ヲ「母艦」ニ改ム

第十四條中「佐尉官、機關佐尉官」ヲ「兵科佐尉官、機關科佐尉官」ニ、「當直機關將校」

ヲ「機關科當直將校」ニ改ム

(説明書卷一、二九〇頁参照)

百六十九

海軍

海軍省
訓令
第百五十三號

大正九年達第百號中「千代田」ヲ削リ滿州ノ次ニ「比良 保津 勢多 堅田」ヲ加フ

大正十二年六月三十日 海軍大臣 財部謹

(説明書卷三、一七九頁参照)

達第百五十四號

艦艇類別標準中左ノ通改正セラル

大正十二年六月三十日

海軍大臣財部彪

別表中潜水艦ノ欄ノ次ニ左ノ一欄ヲ加フ

掃海艇

達第百五十五號

特務艦艇類別標準中左ノ通改正セラル

大正十二年六月三十日

海軍大臣財部彪

別表中「掃海艇」ヲ「掃海特務艇」ニ改ム

百七十

海軍

達第百五十六號

艦艇類別等級中左ノ通改正ス

大正十二年六月三十日

海軍大臣財部彪

別表中驅逐艦ノ欄ノ次ニ左ノ一欄ヲ加フ

掃海艇

第一、第二、第三、第四、第五、第六

備考ニ左ノ一號ヲ加ヘ第三號及第四號ヲ順次繰下ク

三 掃海艇ヲ稱呼スルニハ「第一掃海艇」、「第二掃海艇」等ト稱ス

1074

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>